

近畿中部



「近中くん」
近畿中部防衛局のマスコットキャラクター
生年月日：平成19年9月1日（防衛の日）
出身：近畿中部地方
名前：近中くん（さんちゃんくん）
職業：徳し業
宝物：手作りのまが玉靴
趣味：野球観戦（タイガース、ドラゴンズ、
オリックス）
特技：たこ焼き、さしめんの巻揚げ

近畿中部防衛局広報誌

2019
春



航空自衛隊幹部候補生学校本部庁舎

（写真提供：航空自衛隊幹部候補生学校）

目次

日米共同訓練（フォレストライト02）	2
小松市武道館の改修工事が完成	3
部隊紹介～航空自衛隊幹部候補生学校	4
近畿中部防衛局地方審議会開催	5
第35回防衛セミナー開催	6
FM収録	7
近畿中部防衛局からのお知らせ	8

日米共同訓練（フォレストライト02）

米海兵隊オスプレイの訓練移転

本年2月4日から15日までの間、滋賀県高島市に所在する饗庭野（あいばの）演習場において、陸上自衛隊と米海兵隊による日米共同訓練（フォレストライト02）が行われました。

今回の訓練には、福知山駐屯地等に所在する陸上自衛隊の部隊と、沖縄県に駐留する米海兵隊の部隊が参加し、日米で連携して作戦を指揮する訓練や至近距離射撃訓練等を行ったほか、沖縄の負担軽減を図るための訓練移転として、2月4日から7日までの4日間、普天間飛行場に所在する米海兵隊のMV-22オスプレイ4機が、三重県伊勢市に所在する陸上自衛隊明野駐屯地を整備拠点にして、ヘリボン訓練や離着陸訓練、夜間の飛行訓練等を行いました。

当局は、訓練開始に先立ち、演習場周辺の地元住民の方々を対象に説明会を開催し、共同訓練の趣旨やオスプレイによる訓練計画の概要を説明したほか、訓練期間中は、不測の事態にも迅速に対処できるよう、同演習場内に現地連絡本部を開設して関係自治体との連絡調整を行うとともに、演習場周辺でオスプレイの騒音測定等を行いました。

また、昨年11月に発生した陸上自衛隊の81mm迫撃砲弾による事故を踏まえ、訓練に参加する米軍の部隊長に対して、より一層の安全管理の徹底を要請しました。



オスプレイを使用したヘリボン訓練



現地連絡本部における調整



演習場周辺における騒音測定



米軍への安全要請

小松市武道館の改修工事が完成

小松市武道館（旧桜木体育館）の改修工事が完成しリニューアルオープン

小松飛行場周辺民生安定施設助成事業として、実施された小松市武道館の改修工事が完成し、落成式典が平成30年12月27日に同武道館において華やかに行われ、和田市長をはじめとする多くの関係者が出席し、完成を祝いました。

本事業は、小松飛行場周辺における航空機事故等に対し、安全で安心な生活ができる環境を確保する措置として、小松市防災計画により避難場所として指定されている本施設が整備後25年以上経過したことにより、老朽化が進行している内装及び床の改修、トイレの改修及び増設などの助成を実施したものです。



落成式で祝辞を述べる島近畿中部防衛局長



改修前

床改修



改修後



改修前

トイレ改修



改修後

「武道の拠点」、「快適性」及び「やさしさ」の3つのポイントにより、リニューアルされた「小松市武道館」が、市民の方々の健康増進、精神修養、体力向上や地域の交流の場として活用されることが期待されています。



施設の使用風景



部隊紹介～航空自衛隊幹部候補生学校（奈良基地）

基地の概要

奈良基地は、昭和 17 年 4 月 1 日厚生省西部国民勤労訓練所として開設され、戦後は奈良の米軍キャンプ E 地区として接收されました。

その後、昭和 31 年 9 月 17 日接收解除によって奈良基地が開設されました。

場所は、奈良市内北部、平城宮跡北東の宇和奈辺（うわなべ）、小奈辺（こなべ）の両古墳に接するところにあり、古代から天平への歴史を伝える多くの史跡に囲まれた環境にあります。



基地周辺の様子

第 108 期一般幹部候補生（一般）課程の卒業式

3 月 4 日（月）、航空自衛隊幹部候補生学校で卒業式が行われました。

この日卒業したのは、一般大学等を卒業して航空自衛隊の幹部自衛官を志して入校した一般幹部候補生（一般）課程、通称 U 課程の学生 59 名（うち女性 11 名）です。昨年 4 月の入校以来、安全保障に関する見識を高め、指揮活動の原則を学んできました。約 11 ヶ月間に亘る教育訓練を経て心身ともに逞しく成長した候補生は、今後は初級幹部としてそれぞれの特技に関する知識、技能を習得し、全国の航空自衛隊各部隊等において各自の職域で活躍することになります。

航空自衛隊幹部候補生学校では、「自ら考え、判断し、行動する航空士官」の育成という教育理念の下で一般幹部候補生（防大、部内、一般）課程、医科歯科看護科幹部候補生課程、飛行幹部候補生課程、3 尉候補者課程、公募幹部課程に加え、事務官等を対象とした 2 つの講習や指導教官等の育成を図る幹部教育技術課程（区隊長等）の 10 課程に分かれて教育訓練が行われています。

候補生らは、通常教育訓練以外にも、「国のまほろば」とうたわれた古の都奈良の地で日本の伝統文化に触れ、日本人としての徳操の涵養も図っています。



修了証書授与



幹部候補生学校長式辞



航空幕僚長訓示

近畿中部防衛局地方審議会開催

陸上自衛隊大久保駐屯地

本年 1 月 11 日、陸上自衛隊大久保駐屯地において、平成 30 年度近畿中部防衛施設地方審議会が開催されました。今年度の審議会は、近畿中部防衛局にとって、およそ 15 年ぶりとなる土地の交換事業である「新名神高速道路の建設に伴う長池演習場の用地交換」の事業について説明を行い、国有財産管理への理解を深めてもらうことを目的としたことから、長池演習場を管理する大久保駐屯地の協力を得ての開催となりました。当日は、大久保駐屯地司令表敬後、部隊食の昼食をはさみ、審議会では、同駐屯地業務隊長から駐屯地の概況や長池演習場の使用状況などについて説明を受けました。その後、当局からは、長池演習場の用地交換の経緯や検討状況、その他今後の予定等についての説明を行いました。委員からは様々な意見が出され、今後当局が交換手続きを実施する上で、非常に貴重な意見を頂くことができました。



審議会の様子



訓練展示の視察

審議会を終え、委員は、92式浮橋の訓練展示、07式機動支援橋の装備品展示を見学されました。いずれの場面においても委員からは積極的な質問がなされ、質問に対して大久保駐屯地司令を始めとした幹部隊員が丁寧な説明を行い、その結果、審議会は大変充実したものとなり所期の成果を得ることができました。



訓練展示後の記念撮影

第35回 防衛セミナー開催

国防を支える力～防衛省・自衛隊の隊員を知ろう～



本年2月4日、大阪市梅田にある関西大学梅田キャンパスKANDA I Me R I S Eにて、第35回防衛セミナー「国防を支える力～防衛省・自衛隊の隊員を知ろう～」を開催しました。今回の防衛セミナーは、普段、防衛省・自衛隊の隊員がどのような訓練を行い、どのような日常業務を行っているのかなど、ありのままを知っていただくことで、少しでも防衛省・自衛隊を身近に感じていただき、関心を持っていただくことをテーマとしました。講演では、NHK名古屋放送局の島田敏男局長から「わたしから見た防衛省・自衛隊」と題してご講演いただいた後、陸海空自衛官と事務官から「自衛隊員の日常」と題して、それぞれご講演いただき、その後、島田局長の司会進行で、講演した4名とパネルディスカッションを行いました。

普段なかなか聞けない訓練時の体験談をはじめ、特にパネルディスカッションでは、ワークライフバランス（休暇の取得状況）や子育て（旦那やご近所さんの支援）など自衛隊員の生の声を聞くことができました。当日は、高校生をはじめとして、若い世代の方々など多くの方にご来場いただき、来場者からは「自衛官を身近に感じる事ができた」「防衛省は、正直・素直さ・誠実な人物を育てる組織と感じた」「息子が自衛官志望で、親として不安だったが、応援してやりたいと思えるようになった」などのご感想をいただきました。

今回の防衛セミナーの内容につきましては、近畿中部防衛局のHPにも掲載しますので、ぜひご覧いただき、「防衛省・自衛隊の隊員」を少しでも知っていただく機会としていただければ幸いです。



NHK 名古屋放送局長 島田敏男氏



ディスカッションの様子



会場の様子

F M 収録

FM 88.9 ラジオ局 FM マザーシップ

近畿中部防衛局では、防衛省・自衛隊の各種施策について、地方公共団体及び地域住民から幅広い理解と協力を得ることを目的とした地方協力確保事務の一環として、和歌山県湯浅町にあるコミュニティ FM 局「FM マザーシップ」の協力により、防衛政策や自衛隊・米軍の活動等について、分かりやすく伝えるラジオ番組「防衛問答 近中でござる」を平成 21 年 4 月から放送しております。



これまで、防衛省・自衛隊の歴史に始まり、自衛隊の各種活動などを紹介してきており、近年では近畿中部防衛局の業務の紹介とともに、防衛白書のポイント解説や当局が開催している防衛セミナー、日米交流音楽会の様子などを紹介・発信してきました。

2 月の放送では、2020 年東京オリンピック・パラリンピックの開催を来年に控え、自衛隊とスポーツの関わりとして「自衛隊体育学校」を、また昨年 12 月に決定された「新防衛大綱及び中期防衛力整備計画」の概要について紹介をしたところです。

今後も当番組を通して、防衛政策から自衛隊の活動など、様々な話題を幅広く紹介していく予定です。

※近畿中部防衛局ホームページでは、過去に放送した内容を聞くことができます。



「防衛問答 近中でござる」は毎週土曜日午後 3 時から FM 88.9 にて放送しています。
和歌山に行かれる際は、是非一度「FM マザーシップ」を聞いて下さいネ。

近畿中部防衛局からのお知らせ

● 防衛省職員採用のご案内

近畿中部防衛局職員（事務職、技術職）は、人事院が実施する国家公務員採用一般職試験の最終合格者から採用しています。

2019年度国家公務員採用一般職試験（大卒程度試験）

【インターネット申込受付期間】

4月5日（金）～4月17日（水）[受信有効]

○ 詳しくは、防衛省及び人事院ホームページをご確認ください。

【試験日程】

第1次試験日 6月16日（日）

第1次試験合格者発表日 7月10日（水）

第2次試験日（人物） 7月17日（水）～8月2日（金）

最終合格発表 8月20日（火）

● 米軍関係者との交通事故で被害を受けられた方へ

米軍関係者との交通事故で受けられた被害については、基本的には日本人同士で交通事故を起こした場合と同様、米側当事者やレンタカー会社が加入する保険を通じて賠償を受けることになります。

当局は、被害者の方からご相談があれば、米側との間に立って調整をするなど、できる限りのお手伝いを行っていますので、お困りのことがありましたら、どのようなことでも結構ですので以下の連絡先にご相談ください。



【連絡先】

近畿中部防衛局管理部業務課

電話 06-6945-4964 / 06-6945-5381（夜間及び休日）

■ ご意見・ご感想等募集 ■

近畿中部防衛局では、今後も防衛省・自衛隊の様々な活動や当局の取り組みなどを皆様に分かりやすくお知らせしていきたいと考えております。

本誌に対する皆様のご意見・ご感想などがありましたら、何でも結構ですでお聞かせ下さい。皆様方のご意見を参考にさせていただき、より良い誌面作りを目指していきたいと思っております。

（住所）

〒540-0008

大阪市中央区大手前4丁目1-67

近畿中部防衛局

広報編集委員会（報道官気付）

（電話・FAX）

TEL 06-6945-4953

FAX 06-6910-5669

（メールアドレス）

goiken@kinchu.rdb.mod.go.jp

近畿中部防衛局広報誌「近畿中部」は、近畿2府4県及び北陸3県所在の自治体、大学図書館及び公立図書館などに無料で配布しています。ご希望があれば、他の機関へもお届けしますので、お気軽にご連絡ください。

近畿中部防衛局では、防衛省の地方拠点としての役割を果たすため、国民の皆様から防衛行政全般にわたる緊急の連絡、情報提供に対応できる体制を確保しております。

夜間及び休日の緊急連絡先
TEL・FAX 06-6945-5381

KINKI CHUBU

2019年 通算 57 月号

平成31年3月発行

近畿中部防衛局
広報編集委員会

TEL 06-6945-4953
URL <http://www.mod.go.jp/rdb/kinchu/>

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。